

三芳地区タウンミーティング開催報告

日 時	令和2年8月9日（日）13：30～15：00	
場 所	三芳公民館2階会議室	
参加者	<p>【地域側：11団体、12名】三芳地区連合自治会、東地区自治会、六反地地区自治会、三芳祝太鼓保存会、三芳地区女性のつどい会、三芳スポーツ協会、民生児童委員協議会、三芳愛護班連絡協議会、社会福祉協議会三芳支部、公民館サークル、三芳老人クラブ連合会</p> <p>【行政側：4名】市長、三芳公民館長、政策企画課長、公共施設マネジメント推進係長</p>	
次 第	<p>1.開会 2.三芳地区連合自治会長 挨拶 3.市長挨拶・総合計画のポイントと事業説明（別添資料①） 4.テーマ「公共施設のあり方」に関する現状等説明（別添資料②）・意見交換 5.まとめ・閉会</p>	
概 要		
自治会長挨拶	<p>この会で西条市が抱える課題を地域の皆さんと市が共有し、共に考え話し合うことで、より魅力的で住みやすい愛着の持てるまちづくりに繋がるだろう。 この先10年・20年後の三芳地区を想って、ざっくばらんなご意見をいただきたい。</p>	
市長事業説明	<ul style="list-style-type: none"> ・西条市は今後30年間で約3万人の人口減少が予測されている。 （約108,000人：2015年実績 → 約78,000人：2045年時点の人口推計値） ・上記3万人の内、多くが15歳～64歳→働く世代がいなくなることで、地域や産業の課題増が予想される。 ・「人口減少・少子高齢化への対応」を最重要課題とした総合計画後期基本計画を策定。2045年時点の人口推計値 約85,000人を目指す！ ・優先目標を3つ設定。A)健康寿命の延伸、B)働きがいの創出・経済活力の維持、C)経営感覚のある行財政運営の実践。 ・市民・事業者の皆さん、行政がともに力を合わせて、将来世代にバトンタッチできる「持続可能な西条市」を実現しよう。 	
テーマに関する現状等	<ul style="list-style-type: none"> ・西条市の公共施設は、同規模自治体の1.6倍(延床面積)あり、その半分以上が老朽化(築30年超)している。 ・公共施設マネジメントとは、施設の安全管理と財源確保を両立するための適正配置を実現することである。 ・人口減少・少子高齢化を踏まえ、今後の行政サービスにおいて、削減余地があるのは公共施設のみである。 ・建物は縮減しても機能やサービスの向上を図る「縮充」の発想で施設のあり方を見直すことが大切である。 ・市民のみなさんと情報を共有し、思いを共感し、新しい公共施設のかたちを考える共創を目指していきたい。 	
参加者の発言		市の発言及び対応
<p><東予運動公園の50mプールの存続について> 50mプールが使えなくなると聞き、非常に残念である。各学校にはないので、子ども達の今後の教育のために存続を希望する。</p>		<p>今年はコロナの関係で開放することができなかったが、プールは多額の維持費が必要な施設である。また、東予だけでなく、両プール共に大きな修繕が必要となってきているこの時期に、それぞれどのようにしていくのか、市全体を見据えしっかり考えていかなければならない。 現在の料金体系が適正かどうかも含めて市民の皆さんと協議していきたい。</p>
<p><運動公園(西条・東予)プールの更新について> 同時期に建設し、耐用年数30年が経過しているが、東予のプールの方が傷みが激しいようである。今後の更新はどうなるのか。</p>		
<p><施設の命名権(ネーミングライツ)について> 県が導入している(ひめぎんホールなど)ように、公共施設の名前をつける権利を企業が買うしくみ「ネーミングライツ」を西条市も取り入れてはどうか。</p>		<p>宣伝効果が見込め、投資に値する施設かという企業の判断になってくるので、現在のテレビ等への露出状況を考えると、なかなか厳しいものになるかもしれないが、チャレンジはしてみようと思う。</p>

参加者の発言	市の発言及び対応
<p><施設の統合について> 場所が三芳地区内なら、なんとか徒歩で行くことができても、東予体育館では行く手段がないので難しいという人が多い。施設を統合していくと、益々動きにくくなるのではないか。</p>	<p>各地域から中心部まではデマンドタクシーでつなぎ、中心部では病院やスーパー、公共施設などを回る循環バスを運用していくといった理想を考えたりしている。 しかしながら、様々な検討が必要なことなので、すぐに対応していくとの答えはできない。</p>
<p><公民館機能の充実について> 新聞で「3総合支所の機能削減を公民館のサービス拡充でカバーする」という市長の発言記事を見た。公民館は各団体の連携拠点として必要な存在であると考えますが、支所機能の縮小と、それを補うための公民館機能の充実とはどのようにつながってくるのか。</p>	<p>公民館は、社会教育活動、地域活動などの拠点としての機能を拡充していきたい。地域住民の心の拠りどころ、何か困り事があれば駆け込める場所にしたいと考えている。 総合支所については、窓口業務のうち必要な機能を維持するためにどうすればよいか、サービスの低下はないか、市民の声を聞きながら、縮充にこだわりつつ、適正な機能配置の検討を進めていきたい。</p>
<p><児童数の推移について> 総合計画ダイジェスト版にある人口推移表は、どのように算出しているのか。 また、児童数の増減まで公表した意図は何か。 小・中学校の統廃合が念頭にあるのか。</p>	<p>過去の実績人口の動態から算出した変化率を活用する「コーホート変化率法」を使用し、2010年及び2015年の国勢調査データから地域別(小学校区別)の将来推計人口を算出している。 児童数については、地域の将来を長い目で見た時、若年人口の推移をお示しすることが、市民の方に一番実感してもらえらるであろうとの考えで公表している。以前から申し上げているとおり、小学校を統廃合するといった考えはない。</p>
<p><本谷温泉の再開について> 今は閉館しているが、いつから再開するのか？みんな期待している。</p>	<p>コロナの影響を受け、指定管理者から運営困難を理由とした契約破棄の申出があったことから、現在は閉館している。 来年1月の再開を目指し、現在新しい指定管理者の選定に向けた手続きを進めている。もうしばらくお待ちいただきたい。</p>
<p><河北こども園運動場の高低差について> 運動場において20～30cmの高低差が生じている箇所がある。現在大明神川の砂の除去作業を行っているのだが、その砂を活用して段差を平らにすることができないか。</p>	<p>【後日対応：8月中旬】 現地を確認したが、段差を平らにするためには、砂だけでは弱いと思われる。 段差解消方法を検討するとともに、他に危険な場所がないか調査し、危険防止策を講じてまいりたい。</p>
<p><大明神川河床の掘削について> 砂は業者に買い取ってもらうことができないのか。捨てるのに困っているのか。</p>	<p>大明神川では管理者である県が、洪水回避等を目的として、堆積土砂の撤去工事を実施している。 土砂の処分については、関係機関が相互に工事間流用等の調整を図り、効率的な事業執行に努めている。(一部修正あり)</p>
<p><国安幼稚園の増築について> 来年4月から認定こども園として現在整備中であるが、運動場に1mくらいの段差があると聞いた。これも平らにできないか。</p>	<p>運動場ではなく、園舎から運動場に降りていくところに勾配がある。先生方にも相談しているが、子ども達の活動に幅を持たせるという意味もあるとのことで、階段、緩やかなスロープの他に、のり面に芝生を植えるという整備をしている。 教育の場なので、安全安心の確保は行政の役割だと心得ている。</p>

参加者の発言	市の発言及び対応
<p><放課後児童クラブ(学童)の場所について> 現在学童を行っている北地域交流センターは、小学校から少し距離がある。道路拡張により今後交通量が多くなることが予想されるので、事故防止対策をするか、もしくは学童の場所を小学校に変更する考えはあるか。</p>	<p>交通量の増加は予測できるので、安全確保のための対策に万全を期していく。 また、「学童活動は、積極的に学校の空き教室を使用する」との方針を国が示しているが、西条市も同様の考えである。 三芳地区の学童活動においても、将来的に小学校への場所変更が可能かどうか検討していく。</p>
<p><工事車両による家屋の揺れについて> 大型トラックが公民館前の市道を通り始めたことで、道路沿いの家が揺れ始め壁や柱が傷んできた。誰に相談すればよいか。</p>	<p>【後日対応：8月中旬】 該当車両を特定した結果、市の工事ではないことがわかったが、市民からのご意見があること及び可能であれば走行路を変更してほしい旨を伝えた。</p>
<p>まとめ</p>	<p><市長> やはり皆さんから直接お声をいただくことは貴重である。できる事できない事もあり、優先順位をつけさせていただくこともあるが、三芳に住んで良かった、西条に住んでよかったと言ってもらいたいので、そのために全力を尽くしていく。 <連合自治会長> 本日の意見交換の内容を各団体に持ち帰り、意見を深めていただきたい。また、今回のテーマに限らず、三芳の未来をより良いものにしていくために、住民みんなで話し合い、動き出すことが重要である。自治会としても、市と連携しながら皆さんの取り組みを後押しできるよう励んでまいらる。</p>

<当日の様子>

